

キャンパス内から始めようリサイクル 環境系サークル ひまわり

2001年に発足し環境活動を行っているのが学生サークル「ひまわり」です。環境問題に関心のある約40人のメンバーが集まって、毎週火曜日に会議を開き、活動内容を決定しています。ペットボトルキャップの回収やキャンパスのごみ拾いなどを定期的に行っているほか、新入生向けのリユース市を年1回4月に開くなど、新大の「環境派」学生の拠点としてすっかり定着しています。

活動目標は、学生にとって一番身近なキャンパス内で環境活動を行うことです。キャンパスの美化はもちろん、資源回収にも積極的に取り組んでいます。ペットボトルキャップの回収箱をゴミ箱脇に取り付けた結果、普段ゴミとして捨ててしまうものもリサイクルできるという意識が一般の学生にも広がってきました。

サークル長の佐藤優介さん(経済学部2年)は「環境活動に協力して取り組むことで、学内だけでなく地域の人とも出会い、学生も成長できる」と語っています。市民環境団体主催のイベントにも参加し、環境活動の輪が新大から広がりつつあります。

サークルが一番力を入れているのがリユース市です。毎年卒業シーズンに、卒業生による家具・家電の不法投棄をなくそうということからスタートしました。この時期になるとメンバーが卒業間近な学生のアパートなどに向かい、まだ使えるテレビや書棚などを回収して回ります。新大の伝統行事になったといっているようです。

これら新入生に100円単位の格安な値段で提供し、再利用してもらおうというものです。購入は新入生限定ですが、毎年、市の日には長い列ができるほど賑わいます。第8回となる今年の開催は4月2日の予定です。懐にも環境にも優しいリユース市。今年も「もったいない」の精神が先輩から後輩へとしっかり受け継がれることでしょう。



新大恒例のリユース市は新入生には有難い(ひまわりホームページhttp://www.geocities.jp/himawarou/から)

新潟大学には多くの部活動サークルがありますが、今回は学内や地域で活動する環境系サークル「ひまわり」と放課後サークル「まなびや」を紹介しします。

こんな活動も してきます

新大生と子どもたちの交流の場 まなびや

「まなびや」は、新潟西地区公民館と新潟大学が共同で行っている放課後サークルです。2001年に、「地域社会と連携し、地域の子どもたちに『学校とは異なる学びの場』を提供する」ことを目標に始まりました。現在は小学生18人、学生13人で毎週木曜日の夕方5時から7時まで同公民館で開いています。

内容は「フリータイム」と「まなびの時間」の2部構成で、「フリータイム」では、ボール遊びやしりとりなど、学生が遊び相手となって子どもと一緒に過ごします。「まなびの時間」は地域の人や学生が先生になって楽しみながら、いろいろなことに挑戦しています。

年始には「おせち料理の歴史」をテーマにお正月のことを学びました。アイデアを出し合って自分だけのおせち料理を考えたり、料理に込めた新年の目標を発表したり、話し合ったりすることで知識を深めていました。そのほか春はチューリップで大きな花絵を作ったり、夏にはキャンプなど楽しいプログラムがいっぱいです。

子どもたちは「まなびやで新しいお友達もつくれた」「楽しく勉強できた」と笑顔で話しています。学生にとっても、子どもだけでなく多くの人と触れ合えることが魅力のようです。保護者の1人は「若い大学生との触れ合いは子どもたちにいい影響を与えています。学生が主体ということで最初は不安もあったが、子どもも楽しみにしていて、もう5年間も通わせています」と話していました。

「まなびや」は小学生、地域の方、保護者、大学生という世代を超えた人たちが触れ合う憩いの場もなっています。興味のある方は見学にぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



学生の指導で楽しそうに放課後を過ごす子どもたち▲ 問い合わせは新潟西地区公民館 TEL(261)0031へ。

大学の魅力、再発見! 新大さんぽみち

大学ってどんなところ?

普段なかなか分からない新大の中を
ちょっとだけお教えします!!

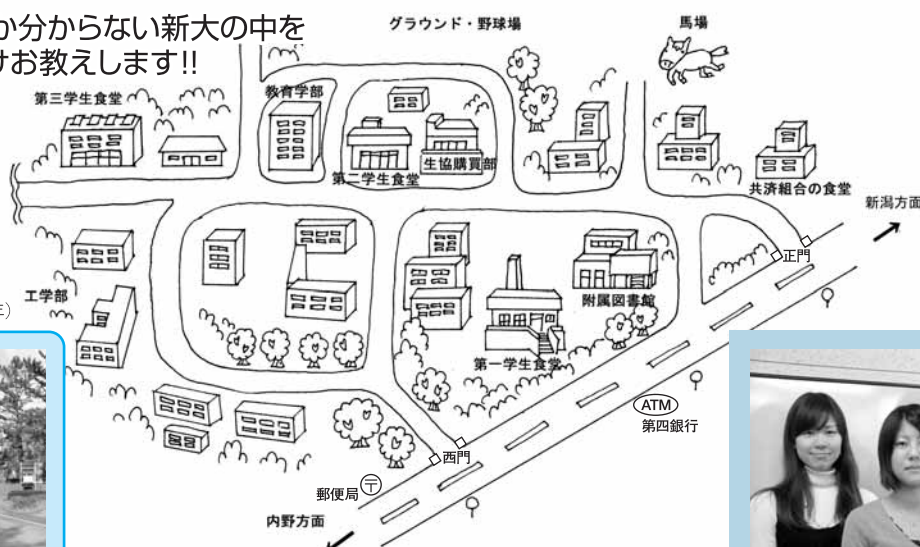


イラスト: 広瀬 紀子 (教育学部2年)



<新潟大学附属図書館>

約167万冊の蔵書を誇り、各社新聞の閲覧や視聴覚コーナーもある充実した施設です。学生の勉強のための利用はもちろん、一般図書は市民の方々への貸し出しも行っています。



<新大の自然>

新大には普段見られない木々をはじめ、豊かな自然があります。木陰で桜や新緑を愛でるもよし、春の暖かい日を浴びて学内を散歩してみるのもとても気持ちがいいですよ。



<西門~教育学部前通り>

こちらおすすめスポットの1つ。大きな教育学部の校舎を正面に、ゆったりと歩いて学生時代にタイムスリップしてください。こちら4月になれば満開のソメイヨシノも見られます。

<LAWSON, NIIGATA UNIVERSITY>

第一学生食堂と附属図書館の間にあります。買い物以外にも、約100席もの広い着席スペースもあるので、ホッと一息つきたい時にも便利です。



後列左から、菊池美央(文学部3年)、中村剛士(法学部4年)、坂井俊介(文学部3年)、前列左から、小林あゆみ(文学部3年)、水戸淳美(文学部3年)

【記事作成を通しての感想】

この度、講義「地域文化論」で新聞制作を学び、その一環として記事を掲載させていただきました。それと読者の皆様には、普段あまり馴染みのない大学施設を知っていただくことで、大学・学生との交流の橋渡しとして、私たちの記事が一役担えれば幸いです。学生には大学の魅力を再確認し、有意義な学生生活を送るための資料にもなると思います。

寒かった冬も終わり、温かな春を迎えます。大学はもちろん、普段通らない道やお店にもちょっと足を伸ばしてみませんか? 素敵な時間を過ごせるかもしれません。

編集者/ 中村 剛士 菊池 美央 水戸 淳美 坂井 俊介 小林 あゆみ